

COVID-19 による制限期間中のフローユニット HSR ガイドライン

OIST が人を対象とする研究実験(HSR)への参加者のキャンパスへの再入場を承認する際、我々は実験参加者とユニットメンバーへの感染リスクを最小限に抑えるため、以下の注意事項を設ける。

1. 全ての実験参加希望者に、以下の全ての条件を満たす場合のみ実験に参加できることを通達する。
 - a. 実験日の少なくとも 14 日前までに沖縄に滞在していること
 - b. 実験日の少なくとも 14 日前から病気に罹っていない人
 - c. 実験日までの 14 日間に沖縄県外に滞在していた人と接触していないこと
 - d. 実験日までの 14 日間に病気の症状がある人と接触していないこと

参加スケジュールは必要に応じて随時変更される可能性がある。

2. 実験で他の人と一緒に参加しなければならない場合を除き、参加者は一人であるように指示される。
3. 社会的な交流に関わる実験には、すでに日常的に近い関係（友人、同居人、家族）にある人を募集する。
4. 参加者は、指定された場所以外の OIST の建物に入らないように求められる。
5. 実験参加者が研究室にいる時間を最小限にするため、インフォームドコンセントの手続きに関する全ての情報は、実験の 48 時間前に電子メールで参加者に送信される。参加者自身の署名のみ、インフォームドコンセントに直接行う。
6. 研究室に入室する前に、参加者は以下の項目を実施する。
 - a. 非接触型体温計による体温の計測
 - b. 手指消毒材の使用
 - c. 実験環境と課題に影響を及ぼさない場合、マスクを着用する。
7. 実験参加者と接触する可能性のあるユニットメンバーは、実験参加者が以下の条件のどれかを満たす場合、実験日は在宅勤務が可能である。
 - a. 実験前日までの 14 日間で沖縄県外に旅行した場合
 - b. 実験前日までの 14 日間で病気の症状が現れた場合
8. 実験中、オフィスに在室することに抵抗のある場合や健康上の懸念があるユニットメンバーには、当日は在宅勤務を許可する。
9. 実験担当者はマスクを着用し、実験のセッションごとに手を消毒する。
10. 実験装置やその表面は、実験のセッション終了ごとに消毒液で拭く。
11. 実験参加者にはガイドラインがあることを伝え、実験セッションを設定する前に同意を得る。